

Point!

ここがポイント!!



自動車総連

2024年

号外

～全国の組合員を国会見学へご招待～



今年はじめに発行した「ここがポイント!!」のクイズに回答いただいた方から、抽選で14名の方に、組織内議員との交流と国会議事堂を見学する機会を準備しました！今回はそのときの様子をお伝えします。



スケジュール

1 知ってください! 今後、国の議論が始まる自動車税の問題

自動車税は複雑且つ過重で不合理的な税制で、長年自動車ユーザーに大きな負担を強いています。今年と来年で自動車税の抜本改革の案が検討されていますが、その中で、**自動車の新たな増税**の議論もされるかもしれません!



ポイント!! 自動車関係諸税の大きな2つの課題

課題1 全9種類!負担が大きすぎる自動車関係諸税

取得段階

消費税
環境性能割

保有段階

自動車重量税
自動車税・軽自動車税

走行段階

揮発油税
地方揮発油税
軽油引取税
石油ガス税
消費税



課題2 自動車へ新たな課税の予感!?

予感!!①

EV化でガソリン・軽油税収が減少することを見込み、国や地方の財源確保のために自動車に課税する可能性が!?

予感!!②

「走行距離課税」やEV・FCVに対するみなし課税など、自動車への新たな増税の議論が行われる可能性が!?



この課題を踏まえた 私たちが目指すべき姿

自動車関係諸税の簡素化・負担軽減

自動車ユーザーの納得感を踏まえた税金の使い方へ

全国の地方自治体の税収には影響を与えない税制へ

走行距離課税やEV・FCVに対する増税等財源確保ありきの新税導入(増税)には断じて反対

スケジュール

2 「ここがポイント!!」で集まった皆さんの生声を議員へ!

組合員の生声を抜粋

自動車関係諸税

- ・ガソリンが高すぎる。
- ・トリガー条項凍結解除に期待しています!
- ・地方に住んでおり、車の維持費が大変です!
- ・走行距離課税、導入反対です!

自動車全般

- ・輸送・物流の人員の確保をお願いします!
- ・自動車産業が世界でイニシアチブを取れるように国策で後押しをしてください!
- ・電気自動車の充電スポットを増やしてほしい。

暮らしに関すること

- ・待機児童問題を小学生にも目を向けてほしいです。学童に落ちてこまっています。
- ・賃金の底上げをお願いします。地方や若者が生活しやすくなる政策を進めてください!
- ・生活必需品の高騰対策をお願いします!



皆さんからの声いただきました、ありがとうございます!
現場の声・要望があるからこそ、政策を動かしていけるんです。

クイズ投稿で集まった声を集約!
当日贈呈した生声集の実物はコチラ→



スケジュール


3 いそぎ議員、はまぐち議員との意見交換

自動車関係諸税について



ガソリン価格の高騰はもちろん、生活必需品として、なくてはならない自動車の税金が高く、私たちには負担になっていますが、税金が下げられない最大の原因は何でしょうか。



参加者全員から、他にもたくさんの質疑があったよ！ 

暫定で、当分の間だけ…と、自動車税に上乘せされている税金は、私が生まれた頃から続けられています。なぜでしょうか？

膨れ上がる支出のスピードをどうするか？議論が必要です


財源として使いたいのが政府の本音です。国の支出は右の3つで全体の4分の3を占めており、支出のスピードをどう緩め、皆さんの負担をどう軽減するか、野党も政府も財政計画の見直しを考えています。

税金の支出ベスト3

- 1位 社会保障
- 2位 国債の返済
- 3位 地方交付金



確実に徴収できる今の仕組みを変えたくないのが理由だと思います


道路を維持するためにはお金が必要で、確実に徴収できる今の仕組みを変えたくないのが理由だと思います。しかも、新たな課税の話題も出てきているので、引き続き、シンプルな税制にしてユーザーの負担を軽減していくように働きかけていきます。いそぎ議員 

自動車の整備士不足について



車は売れているが、自動車整備士が少なく点検の予約も半年待ちの状況です。人材を確保するためにはどうしたら良いでしょうか。



現場は待ったなしの状態を伝えました！ 

整備士不足について国としてどのように考えているか教えてください。


実は資格を保有しながら、自動車整備の仕事に従事していない人が多いです

資格を保有している人たちが自動車整備の仕事をしたいと思えるように、賃金はもちろん、働き方改革をやらないとはいけません！

2級整備士資格保有者数	約60万人
実際に働いている人	約27万人
有資格者で自動車整備を選択していない人	約33万人



国交省も問題意識を持ち、取り組みを進めています

国交省も整備士不足に問題意識を持ち、取り組んでくれます。その一部として、販売協会、整備士協会、それに国交省の役人が集まって問題解決に向けて議論をしたり、専門学校に向けて自動車整備士の現場が働きやすくなっていることを伝える活動もおこなっています。解決へは道半ばですが、引き続き、前進させていきたいと思っています。いそぎ議員 

トラックドライバー2024年問題について




輸送業では、2024年問題で残業を制約され、ドライバーの魅力である稼げるという概念がなくなりつつあります。それにより深刻なドライバー不足に拍車が掛かりそうですが、何か対処法はありますか？





中古車の販売業務をしているスタッフから聞いたのですが、車に付いている部品は都道府県によって「税」が異なり、金額に差が出て複雑なようです。

短い時間でも稼げるよう、魅力を高める必要があります

今までのような長時間労働では、若い人はついてきてくれません。賃金を上げ、短い労働時間でも稼げるようにし、トラックドライバーの魅力を高める必要があります。アメリカのトラックドライバーは新人でも高い年収を実現しており、これに魅力を感じ担い手が増えているようです。はまぐち議員 

関係する省庁へ確認してみます

貴重な声を届けていただきありがとうございます。一度、関係する省庁に詳細を確認してみます。はまぐち議員 

はまぐち議員は見学後すぐに、現行制度に問題がないのか確認に動き始めました！ 

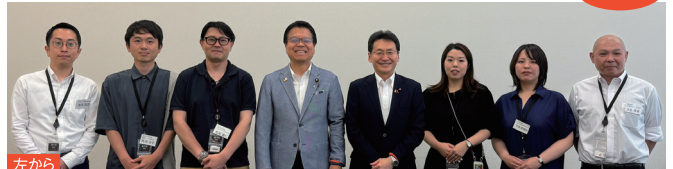
今回の参加者の皆さん

1回目



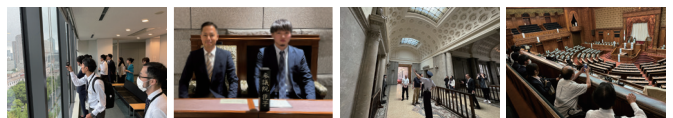
- 左から
- 田中 健一郎さん(トヨタモビリティパーツ労働組合)
 - 杉野 正丹さん(千代田運輸労働組合)
 - 丹野 大輔さん(スバルテクノ労働組合)
 - 増野 高幸さん(埼玉県交通教育協会労働組合)
 - いそぎ 哲史参議院議員
 - 亀井 邦裕さん(本田技研労働組合)
 - 小林 菜々海さん(オートテクニックジャパン労働組合)
 - 大越 仁さん(いすゞ自動車労働組合)
 - 福原 佳さん(プレス工業労働組合)

2回目



- 左から
- 池内 浩彦さん(大阪ダイハツ販売労働組合)
 - 馬場 淳平さん(関東マツダ労働組合)
 - 松尾 雄仁さん(ウエインストヨタ神奈川労働組合)
 - はまぐち 誠参議院議員
 - いそぎ 哲史参議院議員
 - 大木 由佳さん(ヤマハ発動機労働組合)
 - 宇佐美 園枝さん(東海三菱自動車販売労働組合)
 - 大島 秀幸さん(日本発条労働組合)

国会議事堂&議員事務所見学にも行ってきました！



政策改善などを議会に訴える組織内議員の後押しになります！

みんなで声を上げよう！

今回取り上げた「自動車税の問題」はもちろん、それ以外でも構いません。進めてほしい政策やその背景にある困りごと実態などがあれば、ぜひ声をお寄せください。



「あなたの声」が直接議員に届けられます

